

紙文書の電子化



●施設図面電子化事例

業種・対象図面	不動産業（マンション・オフィスビル・貸工場など保有物件の建築・設備図面） 製造業（自社工場の建築・機械設備図面） マンション管理組合（マンションの建築・設備図面）
現 状	2つ折りの図面製本（背貼製本・観音製本）で保管 広げるとA1サイズが多い
課 題	小さい改修・補修工事の際に業者に貸出するため製本が傷んだり、 図面が破れたりして図面が読めなくなる 控えがないためなくなると大きな問題になる
実 施 内 容	製本状態のまま広げてスキャンし PDF 化
効 果	電子化されているので、必要な時にはすぐ業者にデータを渡せる （全体データではなく必要な図面データだけを渡せる） データなので簡単に2重保管ができバックアップが容易（災害対策にもなる） 補修・改修図面も電子化して最新の状態を簡単に把握できる

●広報誌・機関紙等電子化事例

業種・対象文書	官公庁（広報誌・市政だより） 各種団体（広報誌・機関紙） 民間企業（社内報・社外報・記念誌） 地元紙（新聞）
現 状	紙保管
課 題	検索性がなく多数の人に公開もできない 紙の状態が悪化していく
実 施 内 容	電子化（PDF化）してデータで保存 場合により、OCR処理、PDFしおりに作成、台帳管理を行い、検索性を高める
効 果	検索性が高まり、WEB上に公開、社内イントラにて公開などで歴史を知ってもらうことが可能 DVD化することにより希望者に配布（官公庁・各種団体） 省スペース（原稿廃棄）



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキャンニング(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャンニング、WEB制作

コウカ/カ

12

Vol.15

発行者：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

株宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウカ/カ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.15

2016

12
December



弊社が所属する業界団体（近畿複写産業協同組合）の全国組織が、「日本複写産業協同組合連合会」から「日本ドキュメントサービス協同組合連合会」に名称変更しました。もともとは、青写真焼付から創業した会社が多く、産業分類では「複写業」となっていますが、実際に行っている業務はどんどん多様化し、「複写」という言葉があてはまらなくなってきたからです。弊社も、お客様のお役に立てる業務を行い、存在価値のある会社になりたいと思います。

代表取締役 日笠宏昭

「太陽の塔」と
岡本太郎

大阪万博のテーマは「人類の進歩と調和」。テーマ展示プロデューサーになった芸術家・岡本太郎（1911～1996）はこう考えました。「人類は進歩なんかしていない。縄文土器の凄さを見る。今人間に作れるか？調和と云うが、みんなが自分を殺してなれあう調和なんて卑しい。ガンガンぶっつかりあって、そこに生まれるのが本当の調和なんだ。万博では科学技術が会場にあふれることは目に見えている。それに対し、ガツンとまったく周囲と調和しない、そういうものを突き付ける必要があったんだ。万博のテーマの核に、人間であることの誇り、生きていることの欲びを爆発させたいんだ。そして、すでに決まっていた建築家・丹下健三設計の大屋根の真ん中に大きな穴をあけ、テーマ館として太陽の塔を作り出した。当初万博終了後は取り壊される予定だったが太陽の塔ですが、市民の要望等により保存が決まりました。尚、現在耐震・改修工事中で、2018年3月には塔の内部が開示される予定です。

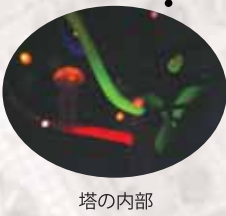
ホントにまたやりますか？ 大阪万博

大阪府は2025年の万博（国際博覧会）を誘致することを女目指し、安倍首相も関係閣僚に協力を指示しました。基本構想によると、テーマは「人類の健康・長寿への挑戦」でバイエリア人工島の夢洲を開催することです。1970年の大阪万博は、当時の高度成長のピークに位置するイベントで、約6,422万人の来場者を集めました。時代背景も世界情勢も全く違う2025年に巨額な費用を伴う万博を成功させるためには、相当魅力的なコンテンツが必要ですし、企画力が問われると感じます。1970年の万博を知る大阪府民としては、正直かなり複雑な心境です。という訳で、ちょっと昔に戻ってみましょう。

BACK TO 1970!



これも岡本太郎の作品
近鉄バファローズのマーク



塔の内部



太陽の塔



エキスポタワー



虹の塔



エキシビション館



せんい館



古河パビリオン・ビルマ館



アメリカ館内



みどり館



三菱未来館



地方自治体館



外国人と初遭遇



電力館



ソビエト連邦館



ガスパビリオン



リコー館・ヨグurt館



ドイツ館・オーストラリア館



オレンジ館



噴水はイサム・ノグチ作



イタリア館内

